



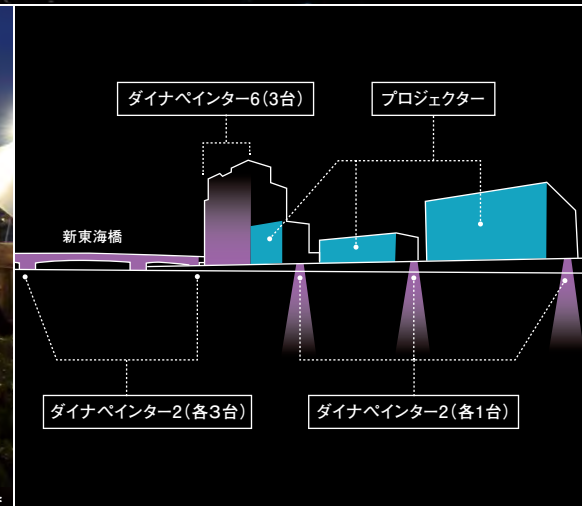
\*



屋台が並ぶウッドデッキからプロジェクションマッピングされた対岸を望む。兩岸をライトアップされた新東海橋が繋いでいる（2017年3月）



\*



## 天王洲チャンネルフェス

TENNOZ CANAL FES.

### 天王洲の魅力ある水辺を 照明・映像連動で空間演出

静かな運河に囲まれ、ゆったりした水辺環境が楽しめる天王洲エリアが、東京ベイエリア水辺開発の一つとして注目を集めている。ここで天王洲の魅力とアートをコラボすることで魅力ある水辺空間を実現しようと活動しているのが一般社団法人天王洲・チャンネルサイド活性化協会。東品川周辺を中心とした運河・水路の修景と地域振興を通じて、豊かな地域社会づくりと新たな生活文化の創出をめざしている。「天王洲エリアは羽田空港から近く、国内外の観光客も呼び込めるポテンシャルの高い場所。本協会が先導を

担い、関係各所が一体となって地域を活性化させることで、東京・日本、そして世界でも比類のない独自の文化エリア・場を創造していきたい」と語るのは同協会理事の田嶋 拓也氏。水辺空間に新たな賑わいを創出する活動の一環として、多様な外部主体と連携、2014年以降天王洲チャンネルフェスを年4回開催している。2017年3月には新東海橋をライトアップし、天王洲運河沿いにあるパートナー企業のビル壁面でのプロジェクションマッピングと連動させた。2018年春はイベント内のライブ映像投映や水辺の映画祭も実施。「今後もパナソニックの先進技術を取り入れ、活動を盛り上げていきたい」と語る。

### 天王洲チャンネルフェス

#### ■プロジェクションマッピング・ライトアップ運動演出

所在地／東京都品川区東品川  
主催／一般社団法人天王洲・チャンネルサイド活性化協会  
照明設計／パナソニック株式会社 エコソリューションズ社  
プロジェクションマッピング／パナソニック株式会社、パナソニック映像株式会社



テレビ東京、アートコーポレーション、パナソニック映像のビル壁面に投映されたプロジェクションマッピング（2017年3月）



ライブ映像とイメージビデオをリアルタイムで合成して対岸に放映（2018年3月）



LEDフルカラー投光器「ダイナペインター2」



映像・照明送出装置(左)と  
超高輝度プロジェクター

一般社団法人 天王洲・チャンネルサイド活性化協会

法人会員／正会員:アートコーポレーション株式会社、株式会社アマナ、株式会社アミューズエデュテインメント、NTT都市開発株式会社、関東電力株式会社、株式会社JTB、新日鉄興和不動産株式会社、株式会社大庄、株式会社タインズアンドカンパニー、ティー・エス・ケー株式会社、株式会社デザイナー、TERRA株式会社、寺田倉庫株式会社、株式会社テレビ東京、株式会社東京アート、株式会社富嶋電工、特定非営利活動団体なぎさの会、日栄住宅建設株式会社、パナソニック映像株式会社、株式会社ハーバー・ブレイン、株式会社ハーバー・リアルエステート／賛助会員:株式会社アグリゲート、株式会社アルメックVPI、エウニクス・ジャパン株式会社、芝浦荷受株式会社、株式会社ハリマビステム、株式会社ヨウジヤマト、Red Yellow And Green株式会社(五十音順)／後援:品川区、港南振興会

イベント実績の動画が  
ご覧いただけます



#### 主な設備

- LEDフルカラー投光器「ダイナペインター2」
- LEDフルカラー投光器「ダイナペインター6」
- 超高輝度プロジェクター

\* 画像提供：一般社団法人 天王洲・チャンネルサイド活性化協会